

平成19年度 第2回佐渡市行政改革推進委員会

1. 日 時 平成19年7月26日(木) 13:35~17:00

2. 場 所 畑野支所 3階 大会議室

3. 出席者 12人

推進委員		事務局	
会 長	中川英男	総務部行政改革課長	藤澤一雄
職務代理	金子剛	総務部行政改革課行政評価係主任	笠井貴弘
委 員	伊藤稔	総務部行政改革課行革推進係長	丹下高晴
"	宇留間博	総務部行政改革課行革推進係主任	北見太志
"	甲斐逸枝		
"	平田緑		
"	山本初子		
"	山本保孝		

4. 会議内容

1 開会

2 会長あいさつ

3 議事

1) 平成18年度改革マニフェストの最終評価について

2) 集中改革プランの実施内容について

3) その他

4 今後の日程・連絡事項

5 閉会

会 議 録 (要 約 版)

1 開会

藤澤行政改革課長あいさつ

駒野委員が異動により、7月で辞任した事を報告。

2 会長あいさつ

中川会長あいさつ

3 議事

1) 平成18年度改革マニフェストの最終評価について

【事務局の説明】

本日は平成18年度実績値が確定したことから、平成18年度改革マニフェストの最終評価をお願いしたい。先日、平成18年度改革マニフェスト自己検証シート(実績値記入分)を送付させていただいたが、実績欄については前回の自己検証シート提出後に変更があった項目のみ、赤字で変更した。達成率と自己評価欄は、見込値時点のものである。中には空白欄もあったので、その部分を申し上げるので各自で控えていただきたい。これから申し上げることにより、評価が変更になる場合は記載し直していただきたい。なお、これから申し上げる達成率と自己評価については、前回評価した際の評価基準も用いて事務局で置き換えさせていただいたものである。

(自己検証シートの空白箇所を各部ごとに報告)

空白部分の記載により評価が変更になる委員は修正をお願いしたい。特に評価に変更が無い委員は評価表の提出をお願いしたい。

(評価表を回収し、各委員の評価表を集計)

集計の間に前回の委員会で評点基準等の見直しを実施したことによる、評価マニュアル内容を再確認させていただきたい。資料については佐渡市行政改革マニフェスト評価マニュアル(案)をご覧ください。修正箇所については、赤字部分である。

(項目ごとに説明)

【委員の意見】

前回の委員会で平成19年度の計画の妥当性(Plan)を評価したが、項目数が少ない部署は1項目である。そこを何項目以上という方法はあるかもしれないが、課数など異なるので、一律、何項目というのは適当でない。そこは市長をはじめとする推進本部会議で最終判断をして公表しているので、当委員会はそれに対して評価するべきである。

【委員の意見】

それを考慮してもバランスを欠いていると感じた。

【委員の意見】

昨年度は100になるとA評価であったが、私は100で当然と考えC評価にしている。100を超えて110までならB評価、110以上はA評価が私の考え方である。

【委員の意見】

昨年も言われたが、委員により色々な考え方がある。統一して評価しては意味が無いということであった。統一しない方が良いのではないか。バラバラの意見が出た中で、また判断したらどうか。

【委員の意見】

前回私が話をしたが、できるだけ枠にはめた考え方で評価するのは止めよう。これらの項目は相手が一方的に出したものである。さわってほしくない項目もたくさんある。そういう項目を積極的に出してもらうようにするべきであり、各委員はどの項目が足りないかを考えれば、評価も変わってくる。私に言わせれば都合の良い項目だけ掲げ、嫌な項目は出していない部分もある。そういう項目こそが大きな問題である。そんな状況がある中、委員が型にはめて機械的に評価するのでは意味がない。そんな事をするのではなく自由奔放にある委員がA評価でも、自分がE評価だと判断すればE評価で良いと考える。

【事務局の回答】

前回の委員会でも申し上げたが、今年10月位を目途に集中改革プランの206項目について、今現在どうなっているかヒアリングを実施し、項目ごとの進捗状況を委員に示したい。また、自己検証シートの達成率と自己評価の基準を平成19年度マニフェストの評価実施までに検討したい。

【委員の意見】

マニフェスト作成などは推進本部で取りまとめ、当委員会に出てくる。少なくとも推進本部の中では、自己評価の仕方をマニュアル化していただきたい。

【委員の意見】

自己評価は非常に大切である。先日の委員会でも申し上げたが、自らが項目を掲げ意欲的に取り組むわけだから、当然それに対して内部検証、本人だけで良いのか、或いは評価委員会、本部会議にかけるべきかをしっかりしないと推進委員がいるので最終的に評価は委員会に預けますという格好は上手くない。やはり自らが取り組むという姿勢がない限り改革は進まない。是非、内部検証、内部評価を実施してもらいたい。評価方法が変わっても大切なことは職員同士、特に課長以下が内容を共有しないと委員が評価して終わりでは翌年度ばかりに気が取られ上手くない。やはりフォローも必要であり、そ

の事を本部会議で話し合ってもらいたい。とにかく内部評価が非常に大切である。先進地の豊橋市では外部評価はない。内部評価だけで実施している。そういう点でも内部評価体制がしっかりしていれば、進む話である。やはり第三者委員会に下駄を預けて評価していただきだけの格好では上手くない。しっかり自分で検証しなければいけないのでよろしくお願ひしたい。

平成19年度改革マニフェストについては、諸々の問題もあるが、計画の妥当性(Plan)と言う点ではすでに終わっている。なかなか整理がつかないが、最終的には個々の委員の判断に任せるしかないと思う。以上のことから評価マニュアルは資料の内容で良いか。

【委員の意見】

はい。

(各委員の集計結果並びに別紙資料に基づき各部の評価を説明)

【事務局の説明】

(最終評価表の第三者評価欄について、総務部から順次、説明)

【委員の意見】

総務部・企画財政部・市民環境部・建設部・教育委員会・消防本部の内容について資料のとおり決定。

福祉保健部は【実績】にある病院の関係を根本的に見直す必要がある等の表現に変更し、【実施後の対応】の項目に追加する。

産業観光部は【実績】の目標は達成されており、評価できるは削除する。

2) 集中改革プランの実施内容について

【事務局の説明】

今後の組織 公共施設 事務事業評価 補助金負担金の4本柱について現在の取り組み状況を説明。

3) その他

【事務局の説明】

平成19年度改革マニフェストの評価表の提出を本日にするか、次回委員会までの提出とするかを決めていただきたい。

【委員の意見】

再度、項目内容を確認し、次回委員会に提出することに決定。

【委員の意見】

平成18年度の自己検証シートの提出が遅かったが、今年度は項目数も多くなることから2週間位前までには資料を郵送していただきたい。

【事務局の説明】

2週間前までには郵送する。

【事務局の説明】

平成18年度改革マニフェストの最終評価結果を市長へ報告する日程を決めていただきたい。

【委員の意見】

市長への報告は8月2日(木)の午後1時30分から決定。

4 今後の日程・連絡事項

次回は平成20年1月下旬頃～2月上旬(月曜日又は金曜日)の開催予定。内容は平成19年度マニフェストの中間評価とし、各部局のプレゼンを実施する予定。

5 閉会

金子職務代理あいさつ